

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【公開番号】特開2018-38877(P2018-38877A)

【公開日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-010

【出願番号】特願2017-231442(P2017-231442)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/42 (2006.01)

A 6 1 F 13/47 (2006.01)

A 6 1 F 13/514 (2006.01)

A 6 1 F 13/51 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/42 F

A 6 1 F 13/47 1 0 0

A 6 1 F 13/514 1 2 0

A 6 1 F 13/51

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月5日(2018.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の電極群間のインピーダンス変化に基づいて体液の広がりを検知する着用物品であって、

前記電極群は、前記着用物品を構成する複数のシートの内の 1 枚のシート表面に形成され、体液が広がったときに相互に絶縁された状態を維持するとともに相互に導線を介して接続された少なくとも 2 つの電極からなり、

前記電極は、前記 1 枚のシートに、導電材料を塗布して形成されており、

前記電極群は、前記 1 枚のシートの腹側領域において加速度センサーを備えた電子機器であるデータ収集手段を固定して接続するための端子にそれぞれ接続されている着用物品

。【請求項 2】

前記導線は、前記 1 枚のシートに、導電材料を塗布して形成されている請求項 1に記載の着用物品。

【請求項 3】

前記電極の導電材料と前記導線の導電材料とが同一である請求項 2に記載の着用物品。

【請求項 4】

前記導電材料は、カーボン粉末を主成分とする請求項 1 ～ 3の何れか 1 項に記載の着用物品。

【請求項 5】

前記着用物品は、液透過性の表面シート、液難透過性の裏面シート、これら両シート間に配された吸収体を有する吸収性本体を備え、

前記 1 枚のシートは、前記裏面シートであり、

前記電極は、前記裏面シートの非肌対向面に形成されている請求項 1 ～ 4の何れか 1 項

に記載の着用物品。

【請求項 6】

前記着用物品は、液透過性の表面シート、液難透過性の裏面シート、これら両シート間に配された吸収体を有する吸収性本体を備え、

前記 1 枚のシートは、前記裏面シートよりも非肌対向面側に配される別シートであり、

前記電極は、該別シートの一面に形成されている請求項 1～4の何れか 1 項に記載の着用物品。

【請求項 7】

前記着用物品は、前記吸収性本体を有する吸収性物品を備え、

前記別シートは、前記吸収性物品の前記裏面シートよりも非肌対向面側に配される該吸収性物品とは別体のシートである請求項 6に記載の着用物品。

【請求項 8】

前記吸収性物品は、尿とりパッドであり、

前記別シートは、前記尿とりパッドの非肌対向面側に配される使い捨ておむつの構成シート、或いは該使い捨ておむつと前記尿とりパッドとの間に配される別個独立したシートである請求項 6 又は 7に記載の着用物品。

【請求項 9】

前記導線は、シート表面に形成された下部絶縁層の範囲内に塗布された前記導電材料からなり、該導線を覆うように上部絶縁層が形成されている請求項 1～8の何れか 1 項に記載の着用物品。

【請求項 10】

前記電極は、シートの表面に形成された下部絶縁層の範囲内に塗布された前記導電材料からなり、該導電材料を覆うように上部絶縁層が形成されている請求項 1～8の何れか 1 項に記載の着用物品。

【請求項 11】

前記上部絶縁層および下部絶縁層は、絶縁性インクからなる請求項 9 又は 10に記載の着用物品。